

新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

生後6か月から4歳のお子様も新型コロナウイルスワクチンを受けられるようになりました。
ワクチンを受けるか、ぜひご検討ください。



最新の情報はホームページからご確認ください

津山市

厚生労働省



- 生後6か月から4歳の方へは、現在「**乳幼児用ファイザー社ワクチン**」のみが接種可能です
- ワクチン接種を受けるには、**保護者の同意と立ち会い**が必要です
- お子様に基礎疾患のある場合や接種に不安がある場合は、事前に**かかりつけの医療機関**に相談してください

接種回数 3回（乳幼児用ワクチンは3回接種で初回接種が完了となります。）

接種間隔 1回目と2回目接種の間隔は**3週間**、2回目と3回目接種の間隔は**8週間**

※接種間隔を超えた場合はできるだけ速やかに2回目又は3回目の接種を受けてください。

※1回目接種後に2回目または3回目接種までに5歳になった場合も、1回目と同じ乳幼児用ワクチンを受けることができます。

1
回目3
週間2
回目8
週間3
回目

予約について

インターネット予約(24時間対応)に、ご協力ください

医療機関によって、予約方法が異なります。実施医療機関一覧または市ホームページをご確認ください。

◎**まずは同一医療機関で2回分（1・2回目接種）の予約をおとりください**

3回目接種の予約は2回目接種以降におとりください

※予約システムでの3回目接種の予約は2回目接種のおよそ3週間後から可能となります

◎市外の県内医療機関でも、特別な手続きなく市内の実施医療機関と同様に接種を受けられます
「岡山県ホームページ」「岡山県共通予約システム」から県内医療機関の情報を確認できます



接種当日

接種は無料で受けることができます

- 本人確認書類（健康保険証、マイナンバーカード等）
- 接種券付き予診票（びわ色）
（接種会場に行く前に必ず**ボールペン**でご記入ください）
- 予防接種済証
（同封の宛名を印字している用紙が、予防接種済証です）
- 母子健康手帳

本人確認書類 接種券付き予診票 予防接種済証



当日必ず
お持ち
いただく物

⚠️ 接種当日の注意点

- 接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは接種を控え、予約した医療機関にご連絡ください
- 2週間以内に他の予防接種（**インフルエンザワクチンを除く**）を受けた場合は、接種ができません



接種後

当日接種後

- 入浴はできます
- 激しい運動は避けるようにしましょう



起こる可能性のある副反応

- 注射した部位の痛み、はれ
- 筋肉や関節の痛み
- 疲労、悪寒、発熱
- 頭痛 下痢
- 発赤、アナフィラキシー



副反応に関する相談

岡山県新型コロナウイルスワクチン
小児・乳幼児専門相談窓口

☎0120-245-061

受付時間：24時間（全日）

新型コロナワクチンの効果

Q. 新型コロナワクチンは、どんな効果がありますか？

A. 生後6か月から4歳の乳幼児に対して、ワクチンの効果や安全性を確かめる研究(臨床試験)が海外の複数の国々で行われました。

新型コロナワクチンを受けることで、新型コロナに感染しても**症状が出にくくなる効果(発症予防効果)**がどれくらいあるかについて、約1,100人程度の乳幼児を対象に分析したところ、3回目接種後7日以降の効果は73.2%と報告されています。

出典：審査報告書より

新型コロナワクチンの安全性

Q. 生後6か月から4歳の子どもが新型コロナワクチンを受けた後は、どんな症状が出ますか？

A. ワクチンを受けた後の症状について調べた臨床試験で、1～3回目の接種後の具体的な症状をみると、接種回数ごとの症状にはあまり変わりがなく、ほとんどの症状が軽度または中等度でした。

現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められません。

〈接種後7日間に現れた症状〉

年齢	症状(発現割合：1回目接種後→2回目接種後→3回目接種後)	
生後6か月～1歳	易刺激性※1	51.2%→47.4%→43.6%
	食欲減退	22.2%→22.2%→20.2%
	傾眠状態※2	27.0%→23.8%→19.9%
	圧痛	16.6%→15.0%→16.0%
2歳～4歳	発熱	7.2%→7.4%→6.8%
	腫脹※3	3.9%→3.9%→2.7%
	発赤	10.6%→9.3%→7.1%
	疼痛	30.8%→31.0%→26.7%
	疲労	29.7%→25.7%→24.5%
	発赤	8.8%→11.4%→10.9%
	下痢	7.7%→6.7%→5.1%
	発熱	5.2%→4.9%→5.1%
頭痛	4.5%→4.6%→4.9%	
	腫脹※3	3.7%→5.7%→3.1%
	嘔吐	3.0%→3.4%→1.6%
	悪寒	2.3%→3.0%→3.3%
	筋肉痛	2.4%→2.6%→2.0%
	関節痛	0.8%→1.4%→1.3%

※1) 機嫌が悪い ※2) 眠たくなる様子 ※3) 注射部位の腫れ

出典：審査報告書より

よくあるご質問

Q1. 生後6か月から4歳の子どもへの接種が開始されている国はありますか？

A. アメリカなどで、生後6か月から4歳の乳幼児への接種が開始されており、日本と同じファイザー社の乳幼児用ワクチンが承認(※)されています。

(※) アメリカでは、日本では現時点では承認されていないモデルナ社の乳幼児用ワクチンも承認され、使用されています。

Q2. 生後6か月から4歳の子どもにも、オミクロン株対応ワクチンは接種できるのでしょうか？

A. 現時点では、6か月～4歳の子ども用のオミクロン株対応ワクチンは、日本で薬事承認されていないため、接種することはできませんが、従来型のワクチンによる初回接種(3回セットの接種)によって、オミクロン株流行下で70%以上の発症予防効果が確認されているので、ぜひ接種をご検討ください。

生後6か月～4歳用のワクチンがオミクロン株流行下でも有効であるとの最新情報を踏まえ、お子様にワクチンを受けていただけるよう、ご本人とその保護者の方に努めていただくことになりました。これは、国民の皆さまに接種にご協力いただきたいという趣旨によるものであり、接種を強制するものではありません。詳しくは厚生労働省ホームページQ&Aをご覧ください。→

